２　食に関する指導の全体計画

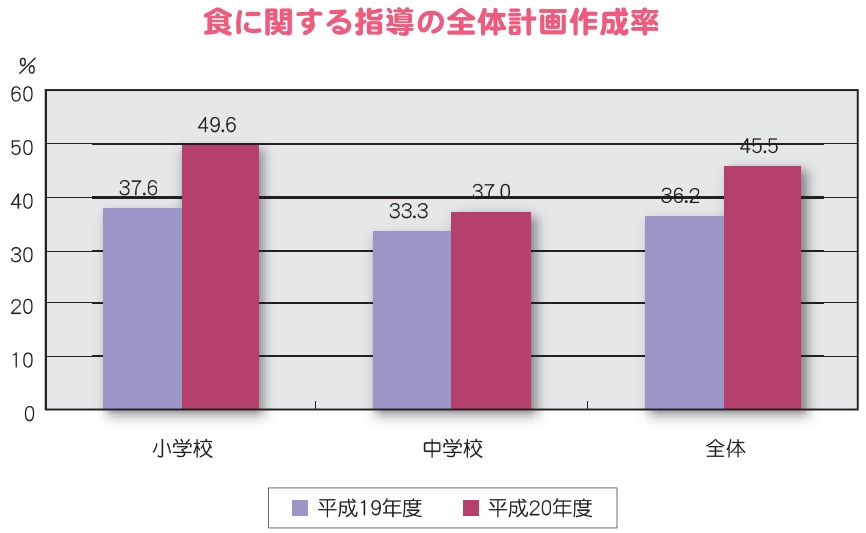
学校における食育は、給食の時間を中心に、特別活動、各教科等の学校教育活動全体において、各教科等の指導内容・方法を生かしつつ、教科横断的な指導として関連付け、体系的に行うことが重要です。

このため、学校給食法第10条において「校長は、当該指導が効果的に行われるよう、学校給食と関連付けつつ当該義務教育諸学校における食に関する指導の全体的な計画を作成することその他の必要な措置を講ずるものとする。」と定められ、校長のリーダーシップの下に関係職員が連携・協力しながら、継続的・体系的に食育を行っていくこととされています。

また、家庭・地域との連携を効果的に図っていく上でも、あらかじめ保護者や地域の関係者等に、食に関する指導の目標や内容等を説明する資料として、「食に関する指導の全体計画」策定は重要です。

静岡県における「食に関する指導の全体計画」の作成率は、平成20年度の小中学校全体で45.5％に留まっており、次項の５つのステップを参考にしながら、今後、各学校で作成を進めていく必要があります。

（参考）静岡県の食に関する指導の全体計画作成率



【全体計画作成のステップ】

ステップ１　学校全体の食に関する指導の目標を設定

○食育基本法・学校給食法・学習指導要領等を踏まえているか。
○児童生徒の実態や発達上の課題、保護者の要望や意向等を考慮しているか。

↓

ステップ２　学年ごとの食に関する指導の目標を設定

○各学年で育てたい児童生徒の姿が具体的に示されているか。
○一貫性・段階性・系統性などに配慮されているか。

↓

ステップ３　給食の時間における食に関する指導内容を整理

○給食の時間における学年ごとの指導の目標や指導の重点が定められているか。
○献立計画の作成において、各教科等の指導内容との関連や地場産物の活用などが考慮されているか。

↓

ステップ４　教科等と関連した食に関する指導場面を抽出・整理

○学習指導要領や使用している教科書の内容に沿っているか。
○指導内容をどの時期にどのくらいの時数で実施するかが整理されているか。
○食に関する指導目標との関連が視点として示されているか。

↓

ステップ５　家庭地域との連携の在り方等を示す。

○個別的な相談指導や地場産物活用の方針が示されているか。
○隣接する学校（園）との接続が示されているか。

上図に示す「全体計画作成のステップ」のうち、ステップ２「学年ごとの食に関する指導の目標を設定」するにあたっては、次に示す「各学年の食に関する指導の目標」（文部科学省）等を参考に、各学校の児童生徒の発達段階を考慮し、年度末の評価規準となるよう具体的に示していくことが大切です。

各学年の食に関する指導の目標

学　年		①食事の重要性	②心身の健康	③食品を選択する能力	④感謝の心	⑤社会性	⑥食文化
小学校	1年	◇食べ物に興味・関心をもつ。 ◇楽しく食事ができる。 ◇朝食の大切さが分かる。	◇嫌いな食べ物でも親しみをもつことができる。 ◇正しい手洗いができる。	◇食べ物の名前が分かる。	◇食事を作ってくれた人に感謝する。 ◇いただきますとごちそうさまの意味が分かり、挨拶ができる。	◇友だちと仲良く食べる。 ◇正しいはしの使い方が分かる。 ◇給食の準備、後片付けができる。	◇自分の住んでいる身近な土地でとれた食べ物を知る。
	2年	◇食べ物に興味・関心をもつ。 ◇食べ物には命があることが分かる。	◇好き嫌いせずに食べようとする。 ◇よく噛んで食べることの大切さが分かる。 ◇良い姿勢で、落ち着いて食べることができる。	◇いろいろな食べ物の名前が分かる。	◇食事を作ってくれる人の努力を知る。 ◇心を込めて、いただきますとごちそうさまの挨拶ができる。	◇みんなと協力して給食の準備、後片付けができる。 ◇正しいはしの使い方ができる。 ◇食器を正しく並べられ、正しく持って食べることができる。	◇季節や行事にちなんだ料理があることを知る。
	3年	◇３食規則正しく食事をとることの大切さが分かる。	◇好き嫌いせずに残さず食べようとする。 ◇よく噛んで食べることができる。 ◇健康に過ごすためには食事が大切なことが分かる。	◇いろいろな料理の名前が分かる。 ◇食品の安全・衛生について、大切だということが分かる。	◇食事は多くの人々の努力があって作られることを知り、感謝の気持ちをもって食べることができる。	◇食事のマナーを考えて楽しく食事ができる。 ◇楽しく給食を食べるために、みんなで協力できる。	◇季節や行事にちなんだ料理があることが分かる。
	4年	◇楽しく食事をすることが心身の健康に大切なことがわかる。	◇健康に過ごすことを意識して、いろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。	◇衛生的に給食の準備や食事、後片付けができる。	◇自然の恵みに感謝して食べることができる。	◇楽しい会話をしながら食べることができる。 ◇楽しく給食を食べるために、みんなで協力して工夫ができる。	◇地域の産物に興味をもち、日常の食事と関連付けて考えることができる。
	5年	◇日常の食事に興味・関心をもつことができる。 ◇朝食を摂ることの大切さを理解し習慣化している。	◇栄養のバランスのとれた食事の大切さが分かる。 ◇食品の三つの働きが分かり、好き嫌いせずに食べることができる。	◇食品の安全・衛生について考えることができる。	◇生産者や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。	◇協力して食事の準備、後片付けを実践しようとする。	◇特産物を理解し、日常の食事と関連付けて考えることができる。
	6年	◇楽しく食事をすることが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながることが分かる。	◇食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせて食べることの大切さを理解し、一食分の食事が考えられる。	◇食品の衛生に気を付けて、簡単な調理をすることができる。 ◇衛生的に食事の準備や後片付けができる。	◇食事にかかわる多くの人々や自然の恵みに感謝し、残さず食べることができる。	◇楽しい食事を通して、相手を思いやる気持ちをもつことができる。 ◇協力して食事の準備、後片付けを進んでできる。	◇食文化や食品の生産・流通・消費について理解を深める。 ◇外国の食文化を通して、外国とのつながりを考えることができる。
中学校	1～3年	◇毎日規則正しく食事を摂ることができる。 ◇食環境と自分の食生活との関わりについて理解することができる。 ◇生活の中で食事が果たす役割や健康と食事との関わりを理解する。	◇自分の生活や将来の課題をみつけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。 ◇身体の発達に伴う必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養について理解する。 ◇１日分の献立をふまえ、簡単な日常食の調理ができる。	◇食品の安全・衛生について判断し、適切な取り扱いができる。 ◇食品に含まれている栄養素や働きが分かり、品質の良否を見分け、適切な選択ができる。 ◇食品の安全で衛生的な取り扱いができる。	◇生産者や自然の恵みに感謝し、食品を無駄なく使って調理することができる。	◇会食について関心をもち、楽しい食事を通して望ましい人間関係をよりよく構築しようとする。 ◇環境や資源に配慮した食生活をしようとする。	◇食文化や歴史と自分の食生活との関連を考えることができる。 ◇食品の生産、流通、消費について正しく理解することができる。

※文部科学省「食に関する指導の手引」（平成19年３月）より抜粋。

【食に関する指導の全体計画作成例】　例１：小学校の事例

食に関する指導の全体計画

・偏食傾向が強い
・食の細い子が多い
・朝食をとらない子がいる

学校教育目標
「やさしさいっぱい　かんがえいっぱい　がんばりいっぱい」

焼津市食育推進計画
「食育ではぐくむ
健康・豊かな人生」
食を知る・つくる・楽しむ

食に関する指導の目標

① 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する
② 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける
③ 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける
④ 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝の心を育む
⑤ 食生活のマナーや食事を通じた人間関係能力を身につける
⑥ 各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ

幼稚園 保育所	各学年の発達段階に応じた食に関する指導の目標			中学校
	低　学　年	中　学　年	高　学　年	
幼稚園・保育所との情報交換（朝食調べ等）	・みんなと楽しく食べることを通して食べ物に興味を持ち、好き嫌いなく食べることができる。	・健康に過ごすことを意識して、好き嫌いなく食べようとする。 ・楽しく食事をすることが、心身の健康に大切なことだとわかる。	・楽しく食事をすることが人と人とのつながりを求め豊かな食生活につながることがわかる。 ・日常の食事に関心を持ち、バランスの取れた食事の大切さが分かるようにする。 ・食の文化や生産にふれ、食べることの意味について考えることができる。	中学校との連携（食事調査、栄養のバランス指導）

			「出会い」のステージ	「挑戦」のステージ	「みのり」のステージ	「希望」のステージ
特別活動	学級活動及び給食時間 ○学級活動 ◎食に関する指導 ●給食指導	低学年	○歯の磨き方を知ろう ◎楽しく食べよう ●給食の約束を覚えよう	○夏休みの過ごし方 ◎食べ物の名前を知ろう ●食器の種類・扱い・片付け方	◎栄養士による栄養指導（１年） ○体によい食べ方をしよう ◎牛乳の栄養 ●よくかんで食べる ●親子給食（１年）	○かぜをひかない体づくり ◎野菜の栄養 ●手洗いの手順
		中学年	○好き嫌いなく食べよう ◎食品について知ろう ●給食のきまりを覚えよう	○夏休みの健康 ◎おやつのとり方 ●適当な速さで食べよう	◎栄養士による栄養指導（３年） ○バランスのよい食事をしよう ◎食べ物の３つの働きを知ろう ●食べ物を大切にしよう	○かぜの予防をしよう ◎食生活を見直そう ●残さず食べる（野菜・牛乳・魚）
		高学年	○家庭での食生活を見直そう ◎季節の食べ物を知ろう ●給食（会食）にふさわしい食べ方	○夏休みの健康 ◎おやつのとり方 ●楽しい給食時間にしよう	○食文化について考えよう ◎栄養士による栄養指導（５年） ◎食べ物と健康（野菜・牛乳・魚） ●食べ物を大切にしよう	○成長を振り返ろう ◎食と健康について知ろう ●６年間の給食を振り返ろう
	全校一斉指導等		配膳、片付けの仕方を覚えよう	センター残量調査	センター残量調査	給食のふり返りをしよう
	学校行事 児童会活動		発育測定　１年生仲間入り集会　スポーツワールド　食育だより　親子給食 給食委員会	修学旅行　自然教室　潮風ふれあい教室　放送委員会　夏休みの生活	秋の遠足　食育集会　環境委員会 陸上大会　長縄大会　冬休みの生活	ランランタイム ６年生の卒業を祝う会

		１年	２年	３年	４年	５年	６年
教科との関連	社　会			・買い物調べ「物を作る仕事」 魚工場見学	・健康なくらしとまちづくり ・昔のくらしとまちづくり	・食料生産を支える人々 ・住みよいくらしと環境	・あゆむかしのくらし ・くらしと政治 ・世界の人々とのつながり
	理　科			・植物を育てよう ・オクラの栽培・観察（実の収穫）	・生き物を調べよう（きせつと生き物） ・ツルレイシの栽培	・生命のつながり　発芽と成長　動物の誕生	・生き物と養分 ・からだのつくりとはたらき
	体　育（保健領域）			・毎日の生活と健康（食事と健康）	・育ちゆく体とわたし（体の発育・発達と栄養）	・けがの防止（丈夫な体と食事） ・心と健康	・病気の予防（病気の予防と食事・栄養）
	総合的な学習の時間 生活科	・よくかんで食べる（栄養士） ・野菜育てから調理まで	・夏野菜、冬野菜を育て食生活に生かしていく	・材料集めからカレー作り ・バランスよく食べる（栄養士）	・バイキングのマナー（潮風ふれあい教室）	・バケツ稲作り ・わたしたちと食―世界の料理―（個人テーマの追求） ・食べ物と健康（栄養士）	・農業実践校での体験（ジャム、おやき、豆腐、野菜作り、飼育）
	家庭科					・簡単な調理（野菜サラダ） ・朝食作り（ごはんとみそしる）	・生活を計画的に ・楽しい食事を工夫しよう
道　徳		１　主として自分自身に関すること。 ２　主として他人とのかかわりに関すること。 ３　主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること ４　主として集団や社会とのかかわりに関すること		＜低＞１－（１）、＜中＞１－（１）、＜高＞１－（１） ＜低＞２－（１）（４）、＜中＞２－（１）（４）、＜高＞２－（１）（５） ＜低＞３－（１）（２）、＜中＞３－（１）（２）、＜高＞３－（１）（２） ＜低＞４－（２）（４）、＜中＞４－（２）（３）（５）（６）、＜高＞４－（２）（４）（５）（７）（８）			

家庭・地域との連携の取り組み方	親子試食会　ＰＴＡ給食試食会　学校保健委員会　学校だより　給食だより　保健だより　ふれあいトークデイ（年４回） 参観会（ＴＴ授業参観）　懇談会（生活習慣病と食生活の関連性について講話）　クラブ　等
地場産物活用の方針	焼津市の主な産業である水産加工は、本校学区にも工場が多数存在している。日本の産業を支えると同時に、日本人としての伝統的な食文化に大きく貢献し、人々の健康にも関与している特産物の水産加工食品を教材として取り上げ、教科指導や総合的な学習の時間等で見学したり、生産に関わっている人々から直接話しをうかがったりする中で、食に関心を持たせる。
個人相談指導の方針及び取り組み方	保護者からの申し出、定期健康診断の結果、アレルギー等日常の食生活から個別相談指導が必要な児童を対象に実施する。 関係職員との連携、校内指導体制についても考えていく。

【食に関する指導の全体計画作成例】　例２：小学校の事例

食に関する指導の全体計画

・子どもの実態 ・保護者・地域の実態	学 校 教 育 目 標 心 の 鐘 を ひ び か せ る 子 食育目標 食生活に関心を持ち、健康保持に心がけ自立していく子ども ～健康で豊かな心身を育む食生活～	学校指導要領 食育基本法 食育推進基本計画 教育委員会の方針

食 に 関 す る 指 導 の 目 標

○　食べることの意味や食物の働き、栄養についての理解を深めると共に食への感謝の気持ちを持つことができるようにする。
○　食事のマナーを身に付け、楽しく食事ができるようにする。
○　食をとおして健康の大切さを知り、望ましい食習慣を身に付ける。
○　郷土の食材や料理への関心を高め、郷土の食文化を大切に思う心情を育てる。
○　家庭や地域へ食育の大切さについて発信し、地域全体の食への関心を高める。

幼稚園 保育所	各学年の食に関する指導目標 低　学　年	 中　学　年	 高　学　年	中学校
幼稚園・保育園との連携	○食べ物に興味関心を持つ。 ○好き嫌いせずに食べようとする。 ○食事を作ってくれた人に感謝をする。 （など）	○３食規則正しく食事を摂る事の大切さがわかる。 ○健康に過ごすことを意識していろいろな食べ物を好き嫌いせずに食べようとする。 ○地域の産物に興味を持ち、日常の食事と関連付けて考える。 （など）	○楽しく食事をすることが、人と人とのつながりを深め、豊かな食生活につながることがわかる。 ○食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく組み合わせて食べる事の大切さを理解し、一食分の食事が考えられる。 ○食文化や食品の生産、流通、消費について理解を深める。 （など）	中学校との連携

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th></tr>
<tr><td rowspan="5">年間指導計画</td><td rowspan="3">○学級活動
◎食指導の内容
●給食指導</td><td>低学年</td><td colspan="3">○食事の約束
◎給食を知ろう
●仲良く食べよう</td><td colspan="3">○夏休みの健康
◎食べ物の名前を知ろう
●楽しく食べよう</td><td colspan="3">○健康な生活習慣
◎食べ物に関心をもとう
●食べ物を大切にしよう</td><td colspan="3">○成長を振り返ろう
◎食べ物について振り返ろう
●給食の反省をしよう</td></tr>
<tr><td>中学年</td><td colspan="3">○給食の約束、歯を大切に
◎食品について知ろう
●給食のきまりを覚えよう</td><td colspan="3">○夏休みの健康、運動と健康
◎食べ物の働きを知ろう
●食事の環境について考えよう</td><td colspan="3">○健康な生活習慣
◎食べ物の３つの働きを知ろう
●食べ物を大切にしよう</td><td colspan="3">○成長を振り返ろう
◎食生活を見直そう
●給食の反省をしよう</td></tr>
<tr><td>高学年</td><td colspan="3">○給食の約束、歯を大切に
◎食べ物の働きについて知ろう
●楽しい給食時間にしよう</td><td colspan="3">○夏休みの健康、運動と健康
◎季節の食べ物について知ろう
●食事の環境について考えよう</td><td colspan="3">○健康な生活習慣
◎食べ物と健康について知ろう
●感謝して食べよう</td><td colspan="3">○成長を振り返ろう
◎食生活について考えよう
●１年間の給食を振り返ろう</td></tr>
<tr><td colspan="2">全　校
一斉指導等</td><td colspan="3">○ふれあい交流ランチ（仲良くなろう）
○じょうぶな歯をつくろう
○お祝い給食</td><td colspan="3">○ふれあい交流ランチ
（楽しく食べよう）</td><td colspan="3">○ふれあい交流ランチ
（雰囲気作りの工夫をしよう）
○主食の大切さを考えよう
○予約給食</td><td colspan="3">○ふれあい交流ランチ
（感謝の気持を表そう）
○季節を味わおう
○希望献立、予約給食</td></tr>
<tr><td colspan="2">給食マナー目標</td><td colspan="3">4　あいさつをしよう
5　食器を正しく置こう
6　お箸を正しく持とう</td><td colspan="3">7　食べる姿勢に気をつけよう
8・9　片づけをしっかりやろう</td><td colspan="3">10　あいさつをしよう
11　食器を正しく置こう
12　手をしっかり洗おう</td><td colspan="3">1　お箸を正しく持とう
2　食べる姿勢に気をつけよう
3　片づけをしっかりやろう</td></tr>
</table>

		特別支援	1年	2年	3年	4年	5年	6年
朝活等	共通指導項目	・朝ごはんの大切さを知ろう	・朝ごはんの大切さを知ろう	・朝ごはんの働きを知ろう	・朝ごはんと生活習慣	・上手に朝ごはんを食べよう	・一日のスタートは朝ごはんから	・パワーアップ朝食を考えよう
学活	重点	・給食ありがとう（10月）	・給食ありがとう（10月）	・野菜を食べて元気になろう（６月）	・何でも食べよう（赤・黄・緑のはたらき）（５月）	・生活習慣病検診ってなぜやるの？（７月）	・どんな食べ物がいいのかな	・健康によい食事のとり方習慣（11月）
栄養職員指導		・仲間はずれをしないで（５月）	・仲間はずれをしないで（５月）	・何でも食べる元気な子（11月）	・牛乳とカルシウム（７月）	・なぜ食べるの（２月）	・未来の自分のために（６月）	・主食の大切さを知ろう　（４月）
教科等との関連	社会	・私の町みんなの町			・私の町みんなの町	・私たちのくらしと土地の様子	・食料生産を支える人々	・大昔の人々の暮らし ・戦争から平和への歩み ・日本とつながりの深い国々
	理科	・植物の体のつくりや育ち方			・植物の体のつくりや育ち方	・季節と生き物	・発芽と成長 ・動物の誕生	・インゲン豆やジャガイモを育てよう ・植物とでんぷん ・生物の住む環境
	家庭						・お茶を入れよう ・野菜サラダを作ろう ・バランスのよい食事	・朝食に合うおかず ・楽しい食事を工夫 ・ふれ合いの輪をひろげよう
	生活科 総合的な学習の時間	㊓　育ててみよう 食べてみよう ㊘　豆はかせ	・さつまいもを育てよう ・家族っていいな ～家族といっしょに～	・野菜を育てよう ・給食センターのひみつ ～身近な人に支えられて～	・豆はかせ ～自分の力で、育てよう、調べよう～	・体にいい食べ物 ～自分をみつめ直して～	・大坂の宝物 ～郷土のよさを知ろう、みつめよう～	・米通になろう ～自分と社会のつながりを考えよう～
	体育(保健領域)				・一日の生活のしかた	・調和の取れた食事運動	・心の成長	・病気の予防 動脈硬化
	道徳	・ぼくの野菜畑	・おいしいお茶	・ありがとう	・わさび田をひらく	・よごれた配膳台	・おばあさんの心	・あったかいうどん
家庭・地域との連携		・てんこもり大作戦　・食育だよりの発行　・食育フェスティバル（７月）　・マラソン記録会（戦国汁作り） ・講演会　・食育啓発ちらし配布						

【食に関する指導の全体計画作成例】　例３：中学校の事例

食に関する指導の全体計画

本校生徒の実態

- 休日の朝食欠食率が高い。（18.8%）
- 生活リズムが不規則（就寝時刻が遅く、起床時すっきり起きられない生徒が多い）
- 肥満度20%以上の生徒の割合が高い。

学校教育目標
意欲的に学び・鍛え合う生徒の育成
重点目標
・発表し合おう　・歌い続けよう　・走り込もう

食に関する指導の目標

①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。〈食事の重要性〉
②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂り方を理解し、自ら管理していく能力を身につける。〈心身の健康〉
③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。〈食品を選択する能力〉
④食物を大事にし、食物の生産等に関わる人々への感謝する心を育む。〈感謝の心〉
⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。〈社会性〉
⑥各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心を持つ。〈食文化〉

- 市　フードバレー構想
- 市教育委員会重点
「たくましく生きるための体力の向上を図るとともに食育の推進に努める」

小学校

「食」に関する事項の情報交換
４校合同研修会や各部会の中での情報交換や申し送り
（各校の児童の実態、朝食摂取状況、食の取り組みと指導内容等、偏食や食物アレルギー児童について）

各学年の食に関する指導の目標

1年	2年	3年
・朝食をしっかり摂り、自ら進んでバランスの良い食生活を送ろうと努力することができる。 ・自分の生活を振り返り、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。	・自ら進んで規則正しく、また栄養バランスに気を付けた食生活を送ろうと努力することができる。 ・食環境と自分の生活との関わりについて、理解することができる。 ・成長期における栄養バランスのとれた食生活についての理解を深める。	・毎日規則正しく食事を摂ろうと努力し、体に安全で必要な食品を選んで食べることができる。 ・生活の中で食事が果たす役割や健康との関わりを理解する。 ・食べ物を大切にし、食物の生産に関わる人や食事を作ってくれる人に感謝の気持ちを持ち、食文化について理解を深める。

特別活動

		1学期	2学期	3学期
学級活動及び給食時間 ○学級活動 ◎食に関する指導 ●給食指導	1年	◎給食の大切さを見直そう ●給食時間の過ごし方	◎夏の健康と食事について考えよう ●食事・会食の仕方	◎給食に携わる人たちに感謝しよう ●準備・後片付けの協力
	2年	◎成長期の食事を知ろう ●給食時間の過ごし方	◎地場産の食材を使った料理を考えよう ●食事・会食の仕方	◎食文化について知ろう ●衛生的な食事
	3年	◎運動と栄養の関係を知ろう ●給食時間の過ごし方	◎学習と栄養の関係を知ろう ●食事・会食の仕方	◎生涯の健康について考えよう ●食事のマナー
全校一斉指導等		・生活リズムをつくろう ・歯を大切にしよう ・生活リズムチェック、生活リズムカード ・朝食調査（市、県）	・生活リズムをつくろう ・食べ物について知ろう ・かぜに負けない体をつくろう ・生活リズムチェック、生活リズムカード ・朝食調査（市、県）	・かぜに負けない体をつくろう ・生活リズムカード
学校行事		・発育測定　・あさぎり間遠学習 ・食育月間　・山の教室　・修学旅行 ・保護者面談　・夏休み指導	・発育測定　・運動会　・新体力テスト ・音楽発表会　・マラソン大会　・保護者面談 ・冬休み指導	・発育測定　・給食週間 ・長なわ大会　・３年生を送る会
生徒会活動		・All Eating Day（残食啓発）活動 ・食に関するアンケート調査 ・給食残量調査　・たより作成配布	・掲示物作成 ・All Eating Day（残食啓発）活動 ・給食残量調査　・たより作成配布	・All Eating Day（残食啓発）活動 ・給食残量調査

教科との関連

	1年	2年	3年
技術・家庭（家庭分野）	・生活の自立と衣食住 ・健康的に食べる （これからのわたしたちの食生活 栄養と健康）	・生活の自立と食生活 ・健康的に食べる （食材にこだわる 食生活を自分の手で）	・生活の自立と食生活 ・楽しく豊かに食べる （会食を楽しもう）
保健体育（保健分野）	・心身の発達と心の健康	・健康と環境	・健康な生活と病気の予防
理　科	・植物のくらしとなかま	・動物のくらしとなかま	・自然と人間
社　会	・原始・古代の日本と世界	・二度の世界大戦と日本	・地球社会とわたしたち
道　徳	・あいさつ（「いただきます」）をする等のマナーを大切にする気持ちを育てる。	・生活習慣を確立させ、食生活を意識した健康管理をしっかり行い、自分を大切にする態度を育てる。	・食べることの大切さを、他の国の状況と比較しながら知ることで感謝の気持ちを育てる。

総合的な学習の時間	・富士山麓の自然を利用した酪農や農業などの産業、観光や文化を学習する。（歴史学習、観光地、酪農農場での職場体験　等） ・フードバレー構想にある食文化を考える中で、食と自然について学ぶ。（自然農法を学ぶ・観光地のゴミ収集調査　等） ・湧水を利用した特産物（ニジマス、豆腐、地ビール等）について調べを進める中で食の安全を考える。（あさぎり間遠学習等）
家庭・地域との連携の取り組み方	・給食だより　・保健だより　・家庭教育学級　・市フードバレー事業行事等への案内 ・地区懇談会等での情報交換
地場産物活用の方針	・地場産物を使用した献立を通じて、地元の食材に関心を持ち、感謝して食べる。 （「富士宮の日」「ふるさと給食週間」「学校給食週間」）
個別相談指導の方針及び取り組み方	・保護者からの申し出、健康診断結果、朝食調査、生活リズムカード、生活リズムチェック、日常の食習慣の様子等から、個別指導が必要な生徒を対象に実施する（食物アレルギーの生徒への対応、偏食や肥満傾向の生徒への指導、その他の健康相談） ・給食を活用し、給食受入職員とも連携して食習慣の実態把握や改善を図る。

【食に関する指導の全体計画作成例】　例４：特別支援学校の事例

食に関する指導の全体計画

子どもの実態 保護者の願い 地域の実態	**学校教育目標** 元気に学び、心豊かに育つ子 ↓ **食に関する指導の目標** ○食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する ○心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける ○正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身に付ける。 ○食物を大事にし、食物の生産にかかわる人々へ感謝する心をもつ ○食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける ○各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ	文部科学省「学習指導要領」 教育委員会の方針

各学部の指導の目標	小学部	中学部	高等部
	○健康な体をつくるために必要な食べ物と栄養を知る。 ○色々な食材に触れたり、色々な料理を味わったりすることを通して、食べることに興味・関心を持つ。 ○食事のマナーを知り、教師や友達と楽しく食事をする。	○食事と健康のつながりを知り、バランスのよい食事の大切さを知る。 ○地域の産物や日本、世界の郷土料理を知り、食文化に興味を持つことができる。 ○食事のマナーを知り、周りの人と関わりながら楽しく食事をする。	○バランスのとれた食事の大切さを理解し、健康に配慮した食習慣を身に付ける。 ○地域の産物や日本、世界の郷土料理から食文化を知り、尊重する心を持つ。 ○食事のマナーを守り、周りの人と関わりながら楽しく食事をする。
	○食べ物を大事にし、食に関わる人達に感謝の心を持つ。 ○食べる機能を高め、必要な栄養を摂取して健康を維持する。 ○食事の準備や片付けなど、自分でできることは進んで行う習慣を身に付ける。		

給食時間	小学部	中学部	高等部
目標	・食べ物の栄養と働きを知る。 ・色々な食べ物や料理について知る。 ・色々な食べ物を好き嫌いしないで食べる。 ・旬の食べ物を知る。 ・みんなと仲良く食べる。 ・正しい食べ方を知る。 ・感謝の気持ちを持って食べる。	・食べ物の栄養と働きを理解する。 ・バランスの良い食事内容を知る。 ・食べ物と体の健康との関係を知る。 ・地域の産物や日本、世界の郷土料理を知る。 ・人とのふれあいを大切にしながら、楽しく食べる。 ・食事のマナーを理解する。 ・感謝の気持ちを持って食べる。	・バランスの良い食事内容を理解する。 ・食べ物と体の健康について理解し、健康に良い食事のとり方を知る。 ・地域の産物や日本、世界の郷土料理から食文化を知る。 ・人とのふれあいを大切にしながら、楽しく食べる。 ・食事のマナーを守る。 ・感謝の気持ちを持って食べる。
取組	給食メモ、旬の食材、行事食、郷土食、世界の料理、保健目標関連献立、給食週間、ふるさと給食週間、食事マナー講座、希望献立		
学級活動	今日の給食の献立を知る		

	1、2年	3、4年	5、6年	中学部	高等部
家庭科			食べ物の栄養と働き	夏休みの食生活について	「栄養・栄養素と食品」「食生活の設計」
保健体育					
社会				日本の郷土料理や世界の食べ物を知ろう	
理科		夏野菜を育てよう（オクラ）	からだのつくりとはたらき		
生活	野菜を作ろう 育てた野菜を食べてみよう				
生活単元学習				野菜を作ろう	

家庭との連携	給食だより、給食週間（献立の募集）、ホームページへの掲載、栄養個別指導

【食に関する指導の全体計画作成例】　例５：特別支援学校の事例

食に関する指導の全体計画

学 校 教 育 目 標
自己の障害を知り、自らの言語力の向上に努め、確かな判断と実行力に富む、健康で情操豊かな人間を育成する。

食 に 関 す る 指 導 の 目 標

①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら判断していく能力を身につける。
③正しい知識・情報に基づいて、食品の品質及び安全性等について、自ら判断できる能力を身につける。
④食物を大切にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心を育む。
⑤食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身につける。
⑥各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

各学部の食に関する指導の目標			
幼稚部	小学部	中学部	高等部
・食事にかかわる習慣を身につける。 ・料理名、食品名を覚えて、食に興味を持つ。	（低・重複）・食べ物に興味関心を持ち、いろいろな食べ物の名前がわかる。 （高）・食事が体に及ぼす影響や食品をバランスよく食べることの大切さを理解する。	・バランスの取れた食事の大切さがわかる。 ・望ましい食事の仕方、生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進しようとする。 ・食環境と自分の食生活の関わりについて、理解することができる。	・給食では、バランスや量を考えて食事をする。また、感謝の気持ちを持って食事をする。 ・給食だけでなく、各教科においても望ましい栄養や食事のとり方を学習し、自己管理する力を身につける。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
特別活動	学級活動及び給食時間 ○学級活動 ◎食に関する指導 ●給食指導	幼稚部	（３歳）◎● ・野菜、くだものの名前を覚えよう。 ・特徴を知ろう。 ・食べ方を知ろう。				（４歳）◎● ・食べ物の名前や料理の方法を覚えよう。 ・食べ物の特徴を知ろう。 ・残さず食べると大きくなるよ。元気になるよ。				（５歳）◎● ・野菜を育てよう（根もの、実のもの等） ・すききらいをするとどうなるの。 ・食べたものはどうなるか。			
		小学部	（低・重）○給食の約束。 ◎給食を知ろう。 ●楽しく食べよう。			○夏休みの健康。 ◎食べ物の名前を知ろう。 ●みんなで仲良く食べよう。			○健康な生活習慣。 ◎食べ物に関心を持とう。 ●残さず食べよう。			○成長を振り返ろう。 ◎食べ物を大切にしよう。 ●感謝して食べよう。		
			（高）○安全衛生に気をつけた給食準備。 ◎給食の働きを知ろう。 ●楽しい給食時間にしよう。			○夏休みの健康。 ◎食べ物の働きを知ろう。 ●給食環境について考えよう。			○健康な生活習慣。 ◎食べ物と健康について考えよう。 ●バランスよく食べよう。			○風邪の予防・成長を振り返ろう。 ◎感謝して食べよう。 ●給食環境を振り返ろう。		
		中学部	○給食の約束の確認。 ◎成長期の食事を知ろう。 ●給食時間の過ごし方、準備、片づけ、時間			○夏休みの生活、健康と運動 ◎夏の健康と食事について考えよう。 ●食事の仕方とマナー			○健康な生活習慣。 ◎季節の野菜、地場産の食事を知ろう。 ●自分の適量を知ろう。			○風邪の予防・成長を振り返ろう。 ◎抵抗力を高める食事。 ●時間を意識して食べよう。		
		高等部	◎発育測定の結果から、各自が食について考えよう。 ●仲間と一緒に楽しく食事をとろう。			○歯の健康について ◎規則正しい生活をする中で、夏ばてしない食事をとろう。			◎●自分の適量を理解して食事をしよう。			○感謝の気持ちを持って食事をしよう。 ◎食事のマナーを知ろう。		
	全校一斉指導等		・発育測定 ・歯科検診									●給食週間（ありがとうの会、仲良し給食）		
	学校行事		・発育測定・遠足（幼・小） ・開校記念運動会 ・自然教室（小・中・高） ・食育月間・修学旅行（中）			・夏休み ・交流運動会（幼・小・中）			・修学旅行（小・高） ・学習発表会 ・冬休み			・給食週間		